学校番号	1301

令和８年度　地歴公民

教科	地理歴史	科目	現代史	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

視聴覚教材やＩＣＴ機器を用いて講義を行う。また、必要に応じてフィールドワークや調べ学習、などをグループで協働して行い、他者と協力することも主題とする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・義務教育段階の基本的な現代史の知識を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・現代史を学び、自分が生きている時代との関連について考えることができる。また、資料や図から様々な情報を適切に理解し、まとめることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・現代史を学ぶことを通して、よりよい社会の実現に向けて、現代の諸課題を追究・解決しようとする態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本及び諸外国の文化や思想に関する基本的な知識を理解し、実生活に活用することができる。 ・視聴覚教材や資料から必要な情報を読み取る技能を身につけ、自分の意見や考えを深めることができる。	・日本及び諸外国の社会問題などについて、多面的・多角的に考察し、自分なりの意見をもつことができる。 ・自分なりの考えを他者にわかりやすく伝えることができる。	・日本及び諸外国の文化や思想から自文化を客観的に見つめなおし、自分事として関心をもつことができる。 ・他者の意見や考えを理解し尊重することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	現代史ついて	・第一次世界大戦前後の世界 ・戦間期の世界 ・第二次世界大戦前後の世界	a:基本的な現代史の知識を理解することができる。 b:自分なりの意見をもって、相手にわかりやすく伝えることができる。 c:諸外国の歴史や文化、思想から自文化を客観的に見つめなおし、自分事として関心をもつことができる。	調べ学習の記述 プリント記述	視聴覚教材の記述 調べ学習の感想	調べ学習の取り組み態度
ステージ2	現代史について	・第二次世界大戦前後の世界	a:視聴覚教材や資料から必要な情報を読み取る技能を身につけ、自分の意見や考えを深めることができる。 b:諸外国の歴史問題などについて、多面的・多角的に考察し、自分なりの意見をもつことができる。 c:他者の意見や考えを理解し尊重することができる。	調べ学習の記述 プリント記述	視聴覚教材の記述 調べ学習の感想	調べ学習・発表活動の取り組み態度 フィールドワーク取り組み態度
ステージ3	一年の振り返り	・冷戦の時代 ・地球社会への歩み ・新聞記事、視聴覚教材をもとに 1 年間の復習及び、歴史新聞を作成する。	a:視聴覚教材や資料から必要な情報を読み取る技能を身につけ、自分の意見や考えを深めることができる。 b:諸外国の歴史問題などについて、多面的・多角的に考察し、自分なりの意見をもつことができる。 c:他者の意見や考えを理解し尊重することができる。	調べ学習の記述 プリント記述	視聴覚教材の記述 調べ学習の感想	プリントの記述 発表態度、相手の話を聞く態度

※　表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度